

## 令和3年度第3回 公立沖縄北部医療センター整備協議会幹事会 議事要旨

- 日時** 令和4年3月18日(金) 18:45～19:45
- 会場** WEB会議(県庁6F第1特別会議室)
- 参加者** 沖縄県保健医療部 大城部長、諸見里医療企画統括監、  
名護市 金城副市長、国頭村 新里福祉課長(代理)、  
大宜味村 島袋副村長、東村 仲嶺福祉保健課長(代理)、  
今帰仁村 比嘉副村長、本部町 平安山健康づくり推進課長(代理)、  
恩納村 外間副村長、宜野座村 下里副村長、金武町 池原副町長、  
伊江村 名城副村長、伊平屋村 金城副村長、  
伊是名村 諸見住民福祉課長(代理)、  
沖縄県病院事業局 玉城病院事業統括監、琉球大学病院 平田副病院長、  
北部地区医師会 宮里副会長、北部地区医師会病院 諸喜田院長、  
県立北部病院 久貝院長
- オブザーバー** 北部市町村会広域連携課 安富主事
- 事務局** 沖縄県保健医療部医療政策課 宮城課長、川満室長、城間主幹、  
玉城主査、名渡山主任、  
システム環境研究所 佐藤(洋)、福地、福岡、小西、金子、佐藤(幸)、  
知念、比嘉、

### 議事概要

#### 1. 開会

(冒頭略)

本日審議した内容は、3月25日に予定している協議会に諮り、最終確認を得た後、協議会としての決定事項となることを確認。

#### 2. 議事 「整備基本計画の策定について」

- (1) パブリックコメントの結果及び対応方針
- (2) 整備基本計画の策定

##### 事務局の説明

事務局からパブリックコメントの結果及び対応方針並びに整備基本計画の策定について概要説明。

#### <質疑等>

##### 【人材の確保等について】

- (1) 病院の機能は、議論した計画をスムーズに進めてほしいこと、設備も重要だ

が、専門職を中心とする人材の確保が重要になってくること、最初からパーフェクトの病院を求めるあまり、現場で働く人の過度な負担とならないようバランスのある議論をお願いしたいとの意見があった。

#### 【整備スケジュールについて】

(2)パブリックコメントにあった農業大の宜野座村への移転スケジュールも含めて、これ以上の遅れが生じないように前倒しできるものは進めてもらいたいとの意見があった。引き続き農林水産部と連携して、早期に開院できるよう取り組んでいくことを確認した。

(3)工期短縮のための取組の方向性として、農業大の移転作業の前後にある開発行為の前倒しの検討、建築工事の工期短縮を図るための工法の検討、開院前の移転準備、リハーサル期間の短縮の検討があり、これらを組み合わせ早期整備に取り組んでいくことを確認した。

#### 【患者家族用の待機スペースについて】

(4)離島・へき地からの患者家族用の待機スペース（簡易宿泊等を想定した畳間等）の整備について、宿泊施設を整備するわけではなく、病院内の共有スペースの一角に、少し横になって休んでいただけるスペースを設けることを想定している。誤解を招く表現となっているため、文言の修正を行う。

#### <採 決>

- パブリックコメントに対する対応方針及び整備基本計画について、文言を一部修正（幹事長に一任）し、協議会に付議することで了承を得た。

### 3. 報告事項 令和4年度スケジュール（案）について

#### 事務局の説明

事務局から令和4年度スケジュール（案）について概要説明。

### 4. 意見交換

#### 【基本設計について】

(1)設計業者選定の手続きについて確認があった。プロポーザル方式の公募を検討しており、1か月以上の公募期間を設定して、審査会を行って候補者を選定する。その後、候補者と仕様書に基づいた調整をして契約することを確認。

(2)基本設計の仕様書について、医療機能部会等で検討された内容が仕様書に入っているか確認する趣旨から、協議会で公表するのか、それとも県で独自にするのかとの確認があり、県で検討することとなった。

#### 【議会への説明について】

(3)一部事務組合の設置について、各市町村議会への説明をいつ頃からやっ

くのか確認があった。要望のある市町村に対しては、県も市町村と協力して説明に伺うこととし、時期については調整していくことを確認した。

**【転籍意向調査について】**

(4)次年度の転籍意向調査について、病院事業局の関わり方、県立病院の新規採用職員をどのように北部につなげていくか、転籍の理解を得られるよう条件整備の体制を早めに構築する必要性、「条件により転籍」の条件をどのように説明するのか、各病院に説明に回ってほしいとの意見・確認があった。次年度の転籍意向調査に向けて内容の検討作業を開始しており、病院事業局及び北部地区医師会病院と調整して現場の意見を吸い上げる段取りをしていること、特に看護師について、開院前から採用して県立病院で研修する仕組みを今後検討しながら、医療従事者の確保に努めていくこと、昨年の転籍意向調査の結果を踏まえて、給与や福利厚生、職場環境など転籍において重視する点を整理すること、各病院を回って説明する機会を設けることを確認した。

**5 . 閉会**

以上